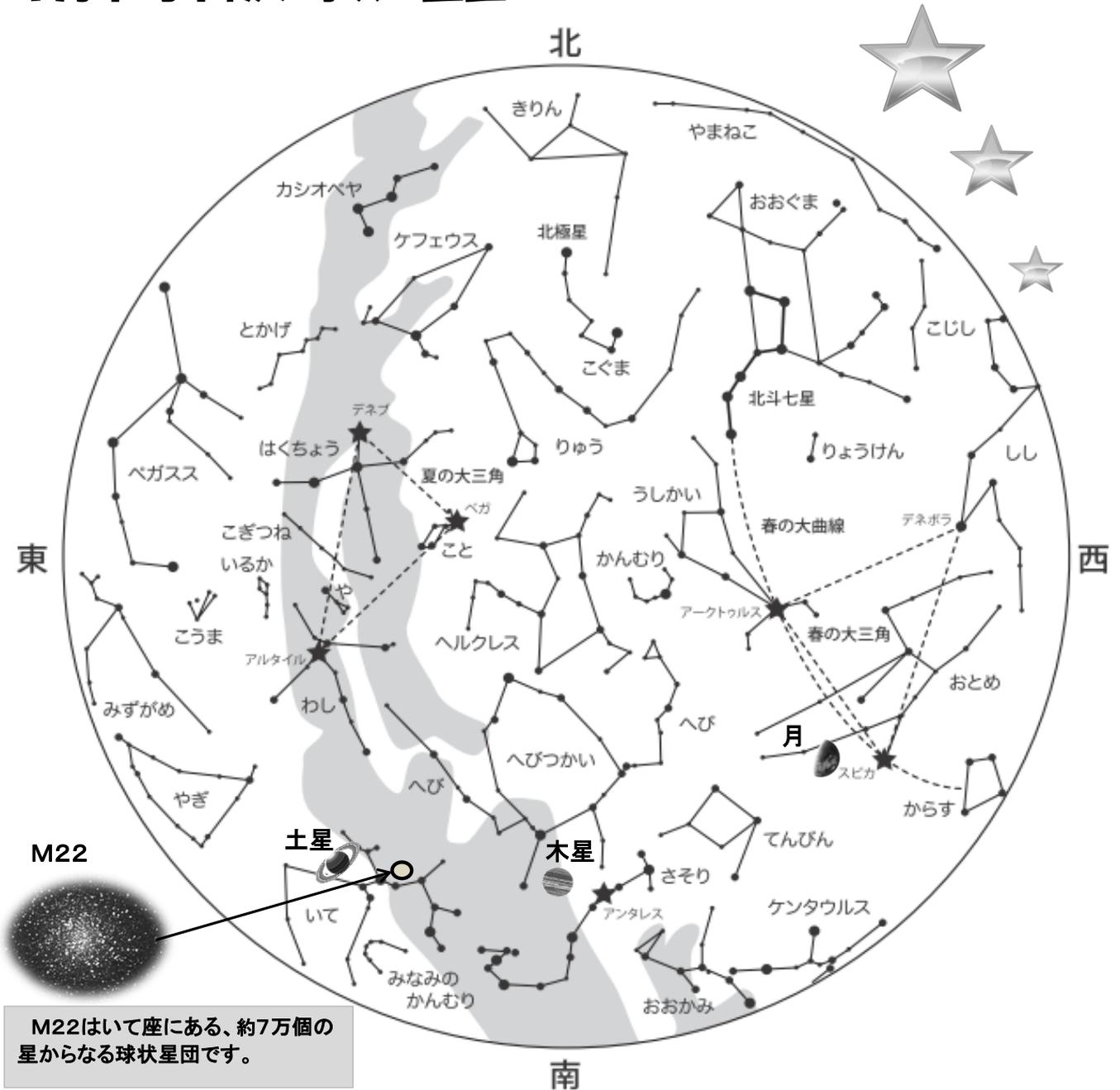


松江市立天文台～7月の天文教室～

7月中旬午後9時頃の星空～

令和元年 7月10日



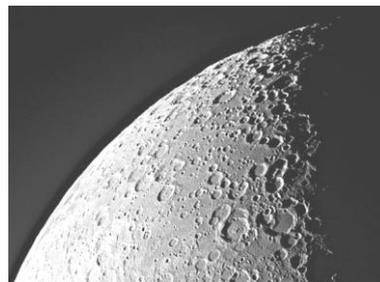
M22はいて座にある、約7万個の星からなる球状星団です。

星を観るのに絶好の季節、夏がやってきました。
こと座、はくちょう座、わし座の1等星からなる「夏の大三角」やさそり座、いて座など、たくさんの星座を見ることができます。
木星や土星などの惑星が見られるのも、あなたを楽しませてくれます。

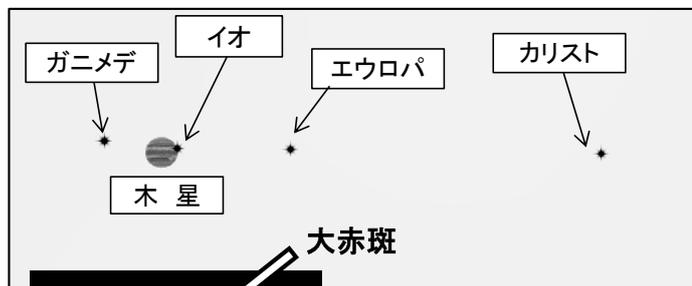
7月中旬午後9時頃の星空です。
月、木星、土星の位置は7月10日現在のものです。
各天体の見かけの大きさは強調してあります。
この星図で星を探すときは、見る方向を下にしてみましょう。

今夜の月

今夜の月は月齢7
月は地球の衛星で、表面の地形が肉眼でも見える唯一の天体です。望遠鏡で見ると、クレーターのあるダイナミックな地形を楽しめます。



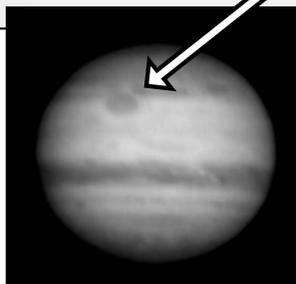
木星



木星はガスで出来た惑星で、固い地面がありません。惑星の中で一番大きく、直径は地球の約11倍、重さ320倍もあります。

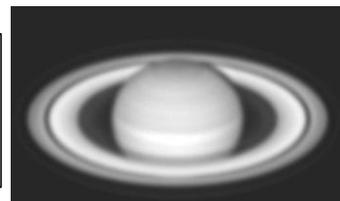
木星には4つの大きな衛星(ガリレオ衛星)があり、小型の天体望遠鏡でも観察できます。

今夜は木星表面の大赤斑(だいせきはん)という模様も観察できます。

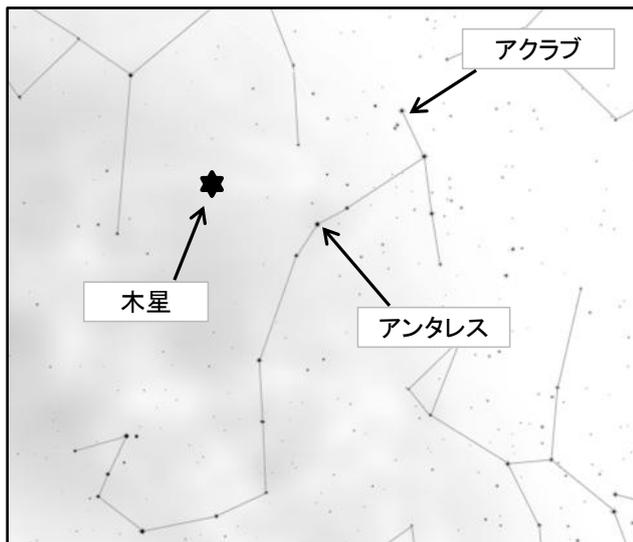


土星

輪を持つ惑星として有名な土星も見ごろを迎えます。小型の天体望遠鏡でも、土星が宇宙に浮かんでいる様子が観察でき、とても神秘的な光景です。



さそり座



さそり座は夏の代表的な星座のひとつで、数千年前から伝わっている古い星座です。

α 星のアンタレスは、1等星のなかで最も赤い星として知られています。

β 星のアクラブは、肉眼ではひとつの星ですが、天体望遠鏡で拡大すると、2.5等星と5等星の二つに分かれて見えます。

さそり座からいて座にかけては、天の川銀河の中心方向になり、たくさんの星雲、星団が見られます。

今年は木星が近くにあるので、より見つけやすいでしょう。

資料のデータは天文年鑑、アストローツから引用しています。使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。

8月は「夏休みの天文教室」

～夜空を見上げよう「夏の星」～

8月5日・6日・7日の3回連続開催！！

時間は3日間とも20時から21時まで

(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)

事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club
松江星の会